

算数・数学科 チェックリスト

年度	調査者	備 考

大分大学教育福祉科学部附属特別支援学校

児童・生徒名 ()

実態調査の仕方

(1) 全体的な留意点

それぞれの領域における実態調査は、「チェックリスト」の段階にそって調査していくことが原則であるが、各分野で若干違ってくる（「(2) 各領域における準備物と留意点」の項参照）。

また、チェックする際に使用する教具や発問は、調査する者によって異なると一人ひとりの実態に客観性がなくなる恐れがあるので、共通した教具や発問を用いるようにする。

実態調査をする際に留意すべき点は、次の通りである。

- ①被調査者が発問の内容を忘れることがあるので、発問は繰り返してもよい。
- ②発問に対する答え方や操作の仕方が理解できていないと思われる場合は、調査者が答え方や操作の仕方の模範を示してやる。
- ③調査の途中で「励ましのことば」をかけることは問題ない。
- ④チェックした際、答えや答え方に問題がある場合は、記録用紙に意味記録を残しておく。

(2) 各領域における準備物と留意点

「数の基礎概念」「集合数」「金銭理解」「時刻・時間」「四則計算」の各領域で、実態調査を実施する際に必要な準備物と留意点は次の通りである。

《数の基礎概念》

段階	準備物
1	・赤・青・黄・白色で直径10cmの円と一辺が10cmの正三角形、 ・正方形のカードをそれぞれ5枚。
2	・赤・青・黄・白色の箱と、同じ形の赤・青・黄・白色のカードをはった箱をそれぞれ一つずつ。
3	・「給食用食器」「色のついた湯のみ」「清掃用具」。 ・「人形」「車」「ボール」など、数種の玩具とそれらの絵を描いた箱。
4	・「コーヒーカップと受け皿」「花瓶と花」「人形とリボン」など、対の関係のあるもの（絵に描いた物でよい）。 ・コーヒーカップと受け皿 10組 ・花瓶と花 10組 ・人形とお菓子 10組 (いずれも絵に描いた物でよい)
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・1-①②③④の調査は全て行う。ただし、高段階の子どもについては、その必要はなく、はじめに色の名前や形の名前を聞いてできれば次の段階に進む。 ・1-⑤については、条件が二つになっても取れるかを見るので色と形の組合せを考えて、太い線の枠の部分进行调查する。ただし、低段階の子どもで、この段階の指導を行っている場合は、一つずつ丁寧に調査すること。 ・2-③④については、一方の条件を取捨していくために全部の調査をする。 ・3段階については、給食の時間や清掃の時間を利用して行ってもよい。

《集合数》

段階	準備物												
11まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらタイル (4 cm × 4 cm) 20個 ・答えの数字を書かせる用紙 (西洋紙1/4程度のも) ・分解カード (B4版用紙) 												
15まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらタイル (4 cm × 4 cm) 100個 ・位取り板 (37 cm × 52 cm) ・記入用紙 (西洋紙1/4程度のも) <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>十のくらい</td><td>一のくらい</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>十のくらい</td><td>一のくらい</td></tr> <tr><td> </td><td> </td></tr> </table>	十のくらい	一のくらい			十のくらい	一のくらい						
十のくらい	一のくらい												
十のくらい	一のくらい												
16まで	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらタイル (4 cm × 4 cm) 500個 ・位取り板 (37 cm × 52 cm) ・記入用紙 (西洋紙1/4程度のも) <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>百のくらい</td><td>十のくらい</td><td>一のくらい</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>百のくらい</td><td>十のくらい</td><td>一のくらい</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>	百のくらい	十のくらい	一のくらい				百のくらい	十のくらい	一のくらい			
百のくらい	十のくらい	一のくらい											
百のくらい	十のくらい	一のくらい											
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・段階を追ってチェックすることが原則であるが、在学中の子どもによって集合数の大体の予想した段階ができる場合は、その段階のチェックから始めてもよい。そして、チェックした段階が「できる」場合は、同じ分野でそれより低い段階は「できる」とみてよい。 ・チェックした段階ができて、次の段階ができなくても、チェックした同じ分野の上位の段階についてはチェックしておくようにする。 												

《時刻 - 時間》

段階	準備物
1	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用模擬時計…直径30cm程度のもので長針と短針を分けやすく、読みやすい数字で記されているもの。 ・数字の空白になった文字盤
2	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用模擬時計 (1段階のものと同じ) ・子ども用模擬時計 (1段階のものと同じ)
4	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども用模擬時計 (1段階のものと同じ)
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・集合数15段階まで理解している子どもは、4段階から調査をする。 ・集合数12段階まで理解している子どもは、2段階から調査をする。 ・集合数7段階以下の子どもの場合には、1段階から調査をする。

《金銭理解》

段階	準備物
1・2	・1、10、100円硬貨、及び1000円札各1枚。
3・4	・1、10、100円硬貨、及び1000円札各10枚。
5	・1、10、100円硬貨各20枚、1000円札1枚。
6	・1、10、100円硬貨、及び1000円札各10枚。 ※硬貨やお札は実物を使用する。
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・数の基礎概念は2段階を終えていなければ調査の対象にならない。 ・数の基礎概念は2段階までは理解しているが、集合数の指導に入っていない子どもには1段階から調査をする。 ・集合数3段階まで理解している子どもは、3段階から調査をする。 ・集合数14段階まで理解している子どもは、5段階から調査をする。 ・集合数16段階まで理解している子どもは、6段階から調査をする。 ・各段階での調査で×が続けば一つ下位の段階にもどる。 ○が続けば×になるまで上位の段階をとっていくようにする。

《四則計算》

段階	準備物
全段階	<ul style="list-style-type: none"> ・ばらタイル(4cm×4cm) 白50個 赤5個 ・計算用プリント(各段階ごとに印刷したもの) ・数式を書かせる名刺程度の紙 50枚
加法2 減法3	・お皿1枚(色は白いタイルが目立つもの)
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、加法の調査から入り、1、2段階まで進め、その後減法の1、2段階の調査をする。ここまですつまづきがあれば、その後は進めなくてもよい。 ・計算はできても数式に表せない子があるので、1段階から調査をする。

『数の基礎概念』実態調査チェックリスト

段階	大項目	小項目	実態調査の仕方		実態(0-できる、X-完全にはできない、意味不明をつけること)							
			使用する教材と問い		調査期日及び調査者							
				チェック・ポイント	/	/	/	/	/	/		
1	同じものを見て指さしたり、取ったり、集めたりすることができる	①示されたものと同じ色を取る	赤の色カードを提示して「これと同じもの(色)を取ってごらん」と指示する	赤カードを指さしたり取ったりするか								
			青の色カードを提示して「これと同じもの(色)を取ってごらん」と指示する	青カードを指さしたり取ったりするか								
			黄色の色カードを提示して「これと同じもの(色)を取ってごらん」と指示する	黄色カードを指さしたり、取ったりするか								
		②同じ色同士を集める	赤・青・黄色のカードを数枚ずつ用意し、赤い箱を提示して「この色と同じカードをこの箱に入れてごらん」と指示する	赤カードを全て赤い箱に入れることができるか								
			赤・青・黄色のカードを数枚ずつ用意し、赤い箱と青い箱を提示して「この色と同じカードをこの箱に入れてごらん」と指示する	赤・青のカードをそれぞれの色の箱に全て入れることができるか								
			赤・青・黄色のカードを数枚ずつ用意し、赤い箱・青い箱・黄色の箱を提示して「この色と同じカードをこの箱に入れてごらん」と指示する	赤・青・黄色のカードをそれぞれの色の箱に入れることができるか								
		③示されたものと同じ形を取る	○の形を提示して「これと同じもの(形)を取ってごらん」と指示する	○の形を指さしたり、取ったりすることができるか								
			△の形を提示して「これと同じもの(形)を取ってごらん」と指示する	△の形を指さしたり、取ったりすることができるか								
			□の形を提示して「これと同じもの(形)を取ってごらん」と指示する	□の形を指さしたり、取ったりすることができるか								
		④同じ形同士を集める	○・△・□の形を数枚ずつ用意し、○の形を書いた箱を提示して「これと同じものをこの箱に入れてごらん」と指示する	○の形を全て箱の中に入れることができるか								
			○・△・□の形を数枚ずつ用意し、○と△の形を書いた箱を提示して「これと同じものをこの箱に入れてごらん」と指示する	○と△の形を全てそれぞれの箱の中に入れることができるか								
			○・△・□の形を数枚ずつ用意し、○と△と□の形を書いた箱を提示して「これと同じものをこの箱に入れてごらん」と指示する	○と△と□の形を全てそれぞれの箱の中に入れることができるか								

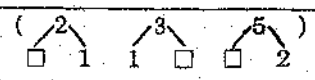
	⑥示されたものと同色同形のものをとる	3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを用意し、赤・○を提示して「これと同じものを取ってごらん」と指示する	赤・○を指差したり、取ったりするか								
		3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを用意し、青・△を提示して「これと同じものを取ってごらん」と指示する	青・△を指差したり、取ったりするか								
		3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを用意し、黄・□を提示して「これと同じものを取ってごらん」と指示する	黄・□を指差したり、取ったりするか								
	⑦異色異形の中から同じ色同士を集める	3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを用意し、青色を提示して「この色と同じものを取ってごらん」と指示する	形に関係なく青色が取れるか								
		3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを用意し、□(色をつけていないもの)を提示して「これと同じものを取ってごらん」と指示する	色に関係なく□が取れるか								
	2	①同じ形の集まりの中から異なる色を集める	赤・○の集まりの中に青・○を入れておき、「違うもの(色)を取ってごらん」と指示する	青・○を取ることができるか							
			赤・○の集まりの中に黄・○を入れておき、「違うもの(色)を取ってごらん」と指示する	黄・○を取ることができるか							
青・△の集まりの中に赤・△を入れておき、「違うもの(色)を取ってごらん」と指示する			赤・△を取ることができるか								
青・△の集まりの中に黄・△を入れておき、「違うもの(色)を取ってごらん」と指示する			黄・△を取ることができるか								
黄・□の集まりの中に青・□を入れておき、「違うもの(色)を取ってごらん」と指示する			青・□を取ることができるか								
黄・□の集まりの中に赤・□を入れておき、「違うもの(色)を取ってごらん」と指示する			赤・□を取ることができるか								
②同じ色の集まりの中から異なる形のものを取り出す			赤・○の集まりの中に赤・△を入れておき、「違うもの(形)を取ってごらん」と指示する	赤・△を取ることができるか							
赤・○の集まりの中に赤・□を入れておき、「違うもの(形)を取ってごらん」と指示する		赤・□を取ることができるか									
青・△の集まりの中に青・○を入れておき、「違うもの(形)を取ってごらん」と指示する		青・○を取ることができるか									
青・□の集まりの中に青・○を入れておき、「違うもの(形)を取ってごらん」と指示する		青・○を取ることができるか									
黄・□の集まりの中に黄・○を入れておき、「違うもの(形)を取ってごらん」と指示する		黄・○を取ることができるか									
黄・□の集まりの中に黄・△を入れておき、「違うもの(形)を取ってごらん」と指示する		黄・△を取ることができるか									

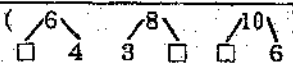
		③色と形を組み合わせた物の中から指示された色だけを取り出す	3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを提示し、「赤色を取ってごらん」と指示する	形に関係なく赤を全部取るか											
			3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを提示し、「青色を取ってごらん」と指示する	形に関係なく青を全部取るか											
			3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを提示し、「黄色を取ってごらん」と指示する	形に関係なく黄を全部取るか											
		④色と形を組み合わせた物の中から指示された形だけを取り出す	3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを提示し、「○を取ってごらん」と指示する	形に関係なく○を全部取るか											
			3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを提示し、「△を取ってごらん」と指示する	形に関係なく△を全部取るか											
			3つの色と3つの形を組み合わせた9通りのカードを提示し、「□を取ってごらん」と指示する	形に関係なく□を全部取るか											
3	・身の回りにある物の中から同じ物同士を集めることができる	①同じ種類の物の中から形・色の同じ物を集める	給食用の数種の食器を用意し、種類別に置いてみせ、「○○ちゃんの食器を置いてごらん」と指示する	種類別に置けるか											
			色の違い湯飲み茶碗を用意し、色別に置いてみせ、「同じ所に置いてごらん」と指示する	色を見て分けられるか											
		②同じ種類の物の中から使い方の同じ物を集める	掃除道具を用意し、ほうき・バケツ・ちりとりなどを置いて見せ「同じ物を置いてごらん」と指示する	同じ物が置けているか											
		③いろいろな種類の中から同じ種類の物を集める	数種の玩具を用意し、それらの絵を書いた箱を用意し「玩具をかたづけてごらん」と指示する	人形は人形箱に入れられるか											
4	・対の関係にある物に対応づけることができるか	①対の関係を見つけて対応する	花びんと花・コーヒーカップと受け皿・人形とりボンなどの対の関係にある物を提示し、「なかよしさんを探してごらん」と指示する	対の関係にある物を取ることができるか											
			②直接くっつけて1対1対応する (同数の場合)	コーヒーカップと受け皿を数個ずつ用意し、カップを皿にのせてごらん」と指示する	一つずつ対応できるか	3									
						5									
						10									
		③直接くっつけて1対1対応する (過不足の場合)	花びんと花を数を違えて用意し、「花をさしてごらん」と指示する	余りを気にしないで一つずつ対応できるか											
④側に置いて1対1対応する (同数の場合)	人形のお客さんとお菓子をを用意し、「お客さんにお菓子を出してごらん」と指示する	一つずつ対応できるか	3												
	人形のお客さんとお菓子の数を違えて用意し、「お客さんにお菓子をだしてごらん」と指示する	余りを気にしないで一つずつ対応できるか	5												

『集合数』実態調査チェックリスト

段階	数	分野	大項目	小項目	実態調査の仕方		実態(0-である、x-完全にはでない、詳細を付けること)								
					使用する教材と問い	チェック・ポイント	調査期日及び調査者								
							/	/	/	/	/	/			
1	1 3	三	数対象と数詞を対応することができる	①数対象と1対1対応して数と言う	タイルを3コ提示し、「指で押さえながら数えてごらん」と指示する	指で対応しながら数えたか									
				②数対象を数詞で言う	タイルを3コ提示し、教えさせた後、「いくつかあるか答えてごらん」と指示する	タイルの数を言えたか									
				③数詞と同じ数の数対象を作る	タイルを5コ与え、「先生の言う数(3→1)だけタイルを並べてごらん」と指示する	言った数だけタイルを並べたか									
2	4 5	三	数対象と数詞を対応することができる	①数対象と1対1対応して数詞を言う	タイルを5コ提示し、「指で押さえながら数えてごらん」と指示する	指で対応しながら数えたか									
				②数対象を数詞で言う	タイルを5コ提示し、教えさせた後、「いくつかあるか答えてごらん」と指示する	タイルの数を言えたか									
				③数詞と同じ数の数対象を作る	タイルを10コ与え、「先生の言う数(5→4)だけタイルを並べてごらん」と指示する	言った数だけタイルを並べたか									
3	6 10	者	数対象と数詞を対応することができる	①数対象と1対1対応して数詞を言う	タイルを10コ提示し、「指で押さえながら数えてごらん」と指示する	指で対応しながら数えたか									
				②数対象を数詞で言う	タイルを10コ提示し、教えさせた後、「いくつかあるか答えてごらん」と指示する	タイルの数を言えたか									
				③数詞と同じ数の数対象を作る	タイルを15コ与え、「先生の言う数(10→6)だけタイルを並べてごらん」と指示する	言った数だけタイルを並べたか									
4	1 3	関 係	数対象や数詞と対応して数字を読むことができる	①数字を見て、数詞を言う	数字カード(1→2→3)を提示し、「数字を読んでごらん」と指示する	数字を読めたか									
				②数詞を数字で表わす	記入用紙を与え、「先生の言う数字(1→2→3)を書いてごらん」と指示する	言った数を数字で書けたか									
				③数字と同じ数の数対象を作る	タイルを5コ与えた後、数字カードを提示(3→2→1)し、「数字と同じ数だけタイルを並べてごらん」と指示する	数字と同じ数だけタイルを並べたか									
				④数対象を数字で表わす	記入用紙を与えた後、タイルを提示(3→2→1)し、「タイルの数を、用紙に数字で書いてごらん」と指示する	タイルの数を数字で書けるか									
5	4 5	関 係	数対象や数詞と対応して数字を読むことができる	①数字を見て、数詞を言う	数字カード(5→4)を提示し、「数字を読んでごらん」と指示する	数字を読めたか									
				②数詞を数字で表わす	記入用紙を与え、「先生の言う数字(5→4)を書いてごらん」と指示する	言った数を数字で書けたか									
				③数字と同じ数の数対象を作る	タイルを7コ与えた後、数字カードを提示(5→4)し、「数字と同じ数だけタイルを並べてごらん」と指示する	数字と同じ数だけタイルを並べたか									
				④数対象を数字で表わす	記入用紙を与えた後、タイルを提示(5→4)し、「タイルの数を、用紙に数字で書いてごらん」と指示する	タイルの数を数字で書けるか									

※数字で表わす場合は、
数字カードをとらせてもよい

6	1 5	大小関係	数対象や数字を比較して多少を言うことができる	①数対象を直接比較して多少を言う	比較するタイル(1⇔3, 2⇔4, 3⇔5)を並べ、「多い(少ない)方のタイルを指差してごらん」と指示する	多い(少ない)方のタイルを指差すことができたか						
				②数対象を数詞で言う	比較する数字(1⇔3, 2⇔4, 3⇔5)を並べ、「多い(少ない)方の数字を言ってごらん」と指示する	多い(少ない)方の数字を言えたか						
7	6 10	三者関係	数対象や数詞と対応して数字を讀むことができる	①数字を見て、数詞を言う	数字カードを提示し(10→8→6)、「数字を讀んでごらん」と指示する	数字を讀めたか						
				②数詞を数字で表わす	記入用紙を与え、「先生の言う数字(10→8→6)を書いてごらん」と指示する	言った数を数字で書けたか						
				③数字と同じ数の数対象を作る	タイルを15コ与えた後、数字カードを提示(10→8→6)し、数字と同じ数だけタイルを並べてごらん」と指示する	数字と同じ数だけタイルを並べたか						
				④数対象を数字で表わす	記入用紙を与えた後、タイルを提示(10→8→6)し、「タイルの数を数で書いてごらん」と指示する	タイルの数を数字で書けたか						
8	6 10	大小関係	数対象や数字を比較して多少を言うことができる	①数対象を直接比較して多少を言う	比較するタイル(6⇔8, 7⇔9, 9⇔10)を並べ、「多い(少ない)方のタイルを指差してごらん」と指示する	多い(少ない)方のタイルを指差すことができたか						
				②数対象を数詞で言う	比較する数字(6⇔8, 7⇔9, 9⇔10)を並べ、「多い(少ない)方の数字を言ってごらん」と指示する	多い(少ない)方の数字を言えたか						
9	0	三者	「ない」ことを数詞や数字で表わせる	①数対象が「ない」時は「れい」と言い、「0」と数字で表わす	記入用紙を与えた後、タイルを提示(5→3→0)し、「タイルの数を言ってごらん」と指示する	タイルがない時、「れい」と言って、「0」の数字を書けたか						
10	11 20	関係	数対象と数詞を対応することができる	①数対象を数詞で言う	タイルを提示(18→15→20)し、数えさせた後、「いくつあるか答えてごらん」と指示する	タイルの数を言えたか						
				②数字と同じ数の数対象を作る	タイルを30コ与え、先生の言う数(19→14→20)だけタイルを並べてごらん」と指示する	言った数だけタイルを並べたか						
11	1 5	合成分解	数対象や数字を見て、合わせた数や残りの数を言うことができる	①数対象を合わせていくつかを言う	タイルを提示(1コと1コ→3コと1コ、2コと3コ)し、「合わせていくつになるか言ってごらん」と指示する	合わせたタイルの数を言えたか						
				②数字を見て、合わせていくつかを言う	数字を提示(1と1→4と1→2と3)し、「合わせていくつになるか言ってごらん」と指示する	合わせた数を言えたか						
				③数対象を使い残りがいくつかを言う	タイルを提示(2→4→5)し、タイルを手で隠し(2の時は1を、4の時は3を、5の時は2を隠す)、「隠れたタイルの数を言ってごらん」と指示する	隠したタイルの数を言えたか						
				④数字を見て、残りがいくつかを言う	分解カードを提示() し、「□の中の数字を言ってごらん」と指示する	□の中の数字を言えたか						

12	21 く 99	三者 関係	数対象と数 詞を対応す ることがで きる	①数対象を数詞で言う	タイルを提示(99→74→58→34)し、 数えさせた後、「いくつあるか答えてごらん」と指示する	タイルの数を言えたか								
				②数詞と同じ数の数対象を作る	タイルを100コ与え、「先生の言う数(99→75→48→24)だけタイルを並べてごらん」と指示する	言った数だけタイルを並べたか								
13	6 く 10	合 成 ・ 分 解	数対象や数字を見て、 合わせた数や残りの数 を言うことが できる	①数対象を合わせていくつかを言う	タイルを提示(4コと2コ→3コと5コ、4コと6コ)し、「合わせていくつになるか言っ てごらん」と指示する	合わせたタイルの数を言えたか								
				②数字を見て、合わせていくつかを言う	数字を提示(5と2→4と4→3と7)し、 「合わせていくつになるか言っ てごらん」と指示する	合わせた数を言えたか								
				③数対象を使い残りがいくつかを言う	タイルを提示(6→8→10)し、タイルを 手で隠し(6の時は4を、8の時は5を、10 の時は4を隠す)、「隠れたタイルの数を 言っ てごらん」と指示する	隠したタイルの数を言えたか								
				④数字を見て、残りがいくつかを言う	分解カードを提示() し、「□の中の数字を言っ てごらん」と指示する	□の中の数字を言えたか								
14	0 く 99	位 取 り 記 数 法	10のまと まりと1の 集まりに分 ける	①数対象を数えて、 10の集まりを作 って並べる	タイルを与え(50コ→80コ)、「10の集 まりを作っ てごらん」と指示する	10の集まりを作れた か								
				②数対象を数えて、 10のまとまりと1 の集まりに分けて 並べる	タイルを与え(38コ→46コ→50コ)、「 10のまとまりと1の集まりに分けて並べ てごらん」と指示する	10のまとまりと1の 集まりに分けて並べ たか								
			二桁の位取 り記数法の しくみが分 かる	①数対象を一の位と十 の位に分けて並べ、 数詞で言う	位取り板とタイルを与え(34コ→56コ→ 60コ)、「10のまとまりは十の位に、1の 集まりは一の位に分けて並べ、そのタイルの 数を言っ てごらん」と指示する	10のまとまりは十の 位に、1の集まりは一 の位に分けて並べ、そ の数を言えたか								
				②一の位と十の位に並 べてある数対象を記 数する	位の部屋に分けた記入用紙を与えた後、位 取り板の十の位に10のまとまりのタイルを 並べ(9コ→5コ→3コ)、次に、一の位に1 の集 まりのタイルを並べ(3コ→5コ→8コ)、「 タイルの数を記入用紙に書いてごらん」と 指 示する	十の位と一の位に並 べたタイルを記数でき たか								
				③位の部屋に記数して いる数字を読む	位取り板に、記数し(34→65→92)、「 数字を讀んでごらん」と指示する	位取り板に記数した 数字を讀めたか								
④数詞を聞いて、一の 位と十の位に分けて 数対象を並べる	位取り板とタイルを100コ与え、「位取り 板に先生の言う数だけタイルを置いてご らん」と指示した後、数詞を言う(65→57→ 46→ 23)	数詞を聞いて、十の 位と一の位に分けて タイルを置いたか												
⑤数詞を聞いて、位の 部屋に数字で表わす	位の部屋に分けた記入用紙を与え、「先生 の言う数を用紙に記入してごらん」と指示 した後、 数詞を言う(98→75→43→37→18)	数詞を聞いて、十の 位と一の位に分けて 記数したか												

			⑥数字を見て、一の位と十の位に分けて数対象を並べる	位取り板とタイルを100コ与え、「先生の見せる数字の数だけタイルを位取り板に置いてごらん」と指示した後、数字を提示する(87→53→40)	数字を見て、一の位と十の位に分けてタイルを並べたか							
15	11 5 99	大小関係	数対象や数字を比較して多少を言うことができる	①数対象を10のまとまりと1の集まりに分けて、直接比較して多少を言う	比較するタイルを二つの箱に分けて与え(64⇔51、46⇔41、25⇔34)、「タイルを10のまとまりと1の集まりに分けて比べ、多い(少ない)方のタイルを指差してごらん」と指示する	タイルを10のまとまりと1の集まりに分けて比べ、多少を言えたか						
			②数字を比較して多少を言う	比較する数字(58⇔53、46⇔43、25⇔38、31⇔27)を並べ、「多い(少ない)方の数字を言ってごらん」と指示する	多い(少ない)方の数字を言えたか							
16	100 5 999	位取り	100や10のまとまりと1の集まりに分ける	①数対象を数えて、100のまとまりを作って並べる	タイルを与え(500コ→300コ)、「100の集まりを作ってごらん」と指示する	100の集まりを作れたか						
			②数対象を数えて、100や10のまとまりと1の集まりに分けて並べる	タイルを与え(238コ→465コ→506コ)「100のまとまりと10のまとまりと1の集まりに分けて並べてごらん」と指示する	100や10のまとまりと1の集まりに分けて並べたか							
		記数法	二桁の位取り記数法のしくみが分かる	①数対象を一の位、十の位、百の位に分けて並べ、数詞で言う	位取り板とタイルを与え(234コ→206コ)「100のまとまりは百の位に、10のまとまりは十の位に、1の集まりは一の位に分けて並べ、そのタイルの数を言ってごらん」と指示する	100のまとまりは百の位に、10のまとまりは十の位に、1の集まりは一の位に分けて並べその数を言えたか						
			②一の位、十の位、百の位に並べてある数対象を記数する	位の部屋に分けた記入用紙を与えた後、位取り板の百の位に100のまとまりのタイルを並べ(8コ→2コ→4コ)、十の位に10のまとまりのタイルを並べ(9コ→5コ→3コ)、次に、一の位に1の集まりのタイルを並べ(3コ→5コ→8コ)、「タイルの数を記入用紙に書いてごらん」と指示する	百の位、十の位、一の位に並べたタイルの数を記数できたか							
			③位の部屋に記数している数字を読む	位取り板に、記数し(348→305→400)「数字を読んでごらん」と指示する	位取り板に記数した数字を読めたか							
			④数詞を聞いて、一の位、十の位、百の位に分けて数対象を並べる	位取り板とタイルを500コ与え、「位取り板に先生の言う数だけタイルを置いてごらん」と指示した後、数詞を言う(365→508→400)	数詞を聞いて、百の位、十の位、一の位に分けてタイルを置いたか							
			⑤数詞を聞いて、位の部屋に数字で表わす	位の部屋に分けた記入用紙を与え、「先生の言う数を用紙に記入してごらん」と指示した後、数詞を言う(438→507→600)	数詞を聞いて、百の位、十の位、一の位に分けて記数したか							
⑥数字を見て、一の位、十の位、百の位に分けて数対象を並べる	位取り板とタイルを500コ与え、「先生の見せる数字の数だけタイルを位取り板に置いてごらん」と指示した後、数字を提示する。(248→240→302)	数字を見て、一の位と十の位、百の位に分けてタイルを並べたか										

『時刻・時間』実態調査チェックリスト

段階	大項目	小項目	実態調査の仕方		実態(0-である、x-完全にはできない、意味不明をつけること)							
			使用する教材と問い		チェック・ポイント		調査期日及び調査者					
							／	／	／	／	／	／
1	時計の仕組みを知り、簡単な時刻を読むことができる	①時計の仕組みを知る	教師用の模擬時計を提示して「長い針(短い針)はどっちか指してごらん」と指示する	長い針を指すか								
			教師用の模擬時計を提示して「針の回る方向に動かしてごらん」と指示する	短い針を指すか								
			教師用の模擬時計の数字を一つひとつ指しながら「読んでごらん」と指示する	右回りに回すか								
			数字の空白になった文字盤を渡し「□の中に数字を入れて時計にしてごらん」と指示する	1~12まで読めるか								
		②〇時を読む	教師用の模擬時計を提示して、〇時ちょうどに針をあわせ「何時でしょう。読んでごらん」と指示する	1~12時まで全て読めるか								
			子ども用模擬時計を渡し「〇時に合わせてごらん」と指示する	1~12時まで全て作れるか								
		③〇時半を読む	教師用の模擬時計を提示して、〇時半に針を合わせ「読んでごらん」と指示する	1時半~12時半まで全て読めるか								
			子ども用模擬時計を渡し「〇時半に合わせてごらん」と指示する	1時半~12時半まで全て作れるか								
		2	〇時△分の時刻を読むことができる	①10分単位の時刻を読む	教師用の模擬時計を提示して、10分単位の時刻に長針を合わせ、「何時でしょう。読んでごらん」と指示する	〇時10・20・30・40・50分が読めるか						
子ども用模擬時計を渡し「〇時10(20・30・40・50)分に合わせてごらん」と指示する	〇時10・20・30・40・50分が作れるか											
②5分単位の時刻を読む	教師用の模擬時計を提示して、5分単位の時刻に長針を合わせ、「何時でしょう。読んでごらん」と指示する			〇時5・15・25・35・45・55分が読めるか								
	子ども用模擬時計を渡し「〇時5(15・25・35・45・55)分に合わせてごらん」と指示する			〇時5・15・25・35・45・55分が作れるか								
③1分単位の時刻を読む	教師用の模擬時計を提示して、1分単位の時刻に長針を合わせ、「何時でしょう。読んでごらん」と指示する			〇時2・14・26・38・43・57分が読めるか								
	子ども用模擬時計を渡し「〇時2(14・26・38・43・57)分に合わせてごらん」と指示する			〇時2・14・26・38・43・57分が作れるか								
④文字盤に数字のない時計の時刻を読む	文字盤に数字のない時計を提示して、1分単位の時刻に長針を合わせ「何時でしょう。読んでごらん」と指示する			〇時2・14・26・38・43・57分が読めるか								
	文字盤に数字のない目覚まし時計などを渡し「〇時2(14・26・38・43・57)分に合わせてごらん」と指示する			〇時2・14・26・38・43・57分が作れるか								
3	24時制で時刻を読むことができる			①午前・午後〇時△分を読む	「〇時は何時ですか。午前・午後のどちらかをつけて言っごらん」と指示する	18時を午後6時、20時を午後8時と言えるか						
				②24時制で時刻を読む	「午後7時は19時という言い方があります。この言い方は午後5(21)時は何時になるでしょうか」と指示する	午後5時を17時、午後9時を21時と言えるか						

4	○時間前(後)や○分前(後)を言うことができる	①○時から△時間前(後)の時刻を言う	子ども用模擬時計を渡し「○時より△時間後の時刻を作ってください」と指示する	5時より2時間後 10時より5時間後											
			子ども用模擬時計を渡し「○時より△時間前の時刻を作ってください」と指示する	5時より2時間前 10時より5時間前											
			「○時より△時間後の時刻を言ってごらん」と指示する	6時より2時間後 11時より5時間後											
			「○時より△時間前の時刻を言ってごらん」と指示する	6時より2時間前 11時より5時間前											
		②○時△分から□分前(後)の時刻を言う(○時内)	子ども用模擬時計を渡し「○時△分より□分後の時刻を作ってください」と指示する	5時15分より10分後 5時36分より11分後											
			子ども用模擬時計を渡し「○時△分より□分前の時刻を作ってください」と指示する	5時15分より10分前 5時36分より11分前											
			○時△分より□分後の時刻を言ってごらん」と指示する	5時15分より20分後 5時37分より11分後											
			○時△分より□分前の時刻を言ってごらん」と指示する	5時15分より10分前 5時37分より11分前											
		③○時△分から□分前(後)の時刻を言う(結果が違うときに移る)	子ども用模擬時計を渡し「○時△分より□分後の時刻を作ってください」と指示する	5時55分より10分後 5時46分より18分後											
			子ども用模擬時計を渡し「○時△分より□分前の時刻を作ってください」と指示する	5時15分より20分前 5時16分より28分前											
			○時△分より□分後の時刻を言ってごらん」と指示する	5時55分より20分後 5時46分より28分後											
			○時△分より□分前の時刻を言ってごらん」と指示する	5時15分より30分前 5時17分より31分前											

『金銭理解』実態調査チェックリスト

段階	大項目	小項目	実態調査の仕方		実態(○-できる、×-完全にはできない、意味不明をつけること)						
			使用する教材と問い	チェック・ポイント	調査期日及び調査者						
1	・提示された金種と同じ金種を取ったり、集めたりすることができる	①提示された金種と同じ金種を取る	1・10・100円硬貨・千円札をそれぞれ1枚ずつ用意し、それらの金種のうち1つを提示し、「これと同じ物を取ってごらん」と指示する	提示された物と同じ物を取ることができるか							
		②提示された金種と同じ金種を集める	1・10・100円硬貨・千円札をそれぞれ数枚ずつ用意し、それらの金種のうち1つを提示し、「これと同じ物をみんな取ってごらん」と指示する	提示された物と同じ物をみんな取ることができるか							
2	・言われた金種を取ったり、提示された金種の名前を言ったりすることができる	①言われた金種を取る	1・10・100円硬貨・千円札をそれぞれ1枚ずつ用意し、「○円を取ってごらん」と指示する	指示した金種を全部取ることができるか							
		②提示された金種の名前を言う	4つの金種の中から、1枚ずつ提示し、「これは、いくらですか」と問う	4つの金種の名前を全部言うことができるか							
3	・単一の金種で作った金銭を読んだり、言われた金額を作ったりすることができる	①○百円の金銭を読んだり、言われた○百円の金額を作ったりする	100円硬貨○枚を提示し、「いくらあるかかぞえてごらん」と指示する	200円、600円、800円が読めるか							
			100円硬貨10枚を入れた箱を用意し、「○百円ください」と指示する	300円、500円、700円が取れるか							
		②○十円の金銭を読んだり、言われた○十円の金額を作ったりする	10円硬貨○枚を提示し、「いくらあるかかぞえてごらん」と指示する	20円、60円、80円が読めるか							
			10円硬貨10枚を入れた箱を用意し、「○十円ください」と指示する	30円、50円、90円が取れるか							
		③○円の金銭を読んだり、言われた○円の金額を作ったりする	1円硬貨○枚を提示し、「いくらあるかかぞえてごらん」と指示する	2円、6円、8円が読めるか							
			1円硬貨10枚を入れた箱を用意し、「○円ください」と指示する	3円、5円、7円が取れるか							
④○千円の金銭を読んだり、言われた○千円の金額を作ったりする	千円札○枚を提示し、「いくらあるか、かぞえてごらん」と指示する	4000円、6000円、8000円が読めるか									
	千円札10枚を入れた箱を用意し、「○千円ください」と指示する	3000円、5000円、9000円が取れるか									
		①○百△十円の金銭を読んだり、言われた○百△十円の金額を作ったりする	○百△十円の金銭を提示して、「いくらあるかかぞえてごらん」と指示する	290円、650円、930円が読めるか							
			100円硬貨10枚と10円硬貨10枚を用意し、「○百△十円ください」と指示する	280円、650円、930円が取れるか							

4	・複数の金種で作った金銭を読んだり、言われた金額を作ったりする	②〇十△円の金銭を読んだり、言われた〇十△円の金額を作ったりする	〇十△円の金銭を提示して、「いくらあるかかぞえてごらん」と指示する	38円、54円、82円が読めるか						
			10円硬貨10枚と1円硬貨10枚を用意し、「〇十△円ください」と指示する	38円、54円、82円が取れるか						
		③〇千△百円の金銭を読んだり、言われた〇千△百円の金額を作ったりする	〇千△百円の金銭を提示して、「いくらあるかかぞえてごらん」と指示する	1600円、3400円、5400円が読めるか						
			1000円札10枚と100円硬貨10枚を用意し、「〇千△百円ください」と指示する	1600円、3400円、5400円が取れるか						
5	・1円と10円10円と100円、100円と1000円の等価関係を利用した代金作りができる	①10円を1円硬貨10枚に、1円硬貨10枚を10円に置き換えて「〇十△円」の金額を作る	1円硬貨10枚を提示して「いくらありますか」と問う	10円と読めるか						
			1円硬貨10枚を入れた箱を用意し、10円硬貨1枚を見せ「これを1円硬貨に両替してごらん」と指示する	1円硬貨を10枚取れるか						
			1円硬貨20枚を入れた箱を用意し、「〇十△円取ってごらん」と指示する	14円、17円、19円が取れるか						
		②100円を10円硬貨10枚に、10円硬貨10枚を100円に置き換えて「〇百△十円」の金額を作る	10円硬貨10枚を提示して「いくらありますか」と問う	100円と読めるか						
			10円硬貨10枚を入れた箱を用意し、100円硬貨1枚を見せ「これを10円硬貨に両替してごらん」と指示する	10円硬貨を10枚出せるか						
			10円硬貨20枚を入れた箱を用意し、「〇百△十円取ってごらん」と指示する	130円、160円、180円が作れるか						
	③1000円を100円硬貨10枚に、100円硬貨10枚を1000円に置き換えて「〇千△百円」の金額を作る	100円硬貨10枚を提示して「いくらありますか」と問う	1000円と読めるか							
		100円硬貨10枚を入れた箱を用意し、千円札1枚を見せ「これを100円硬貨に両替してごらん」と指示する	100円硬貨を10枚出せるか							
		100円硬貨20枚を入れた箱を用意し、「〇千△百円取ってごらん」と指示する	1200円、1500円、1700円が作れるか							
	①「〇円や」「〇十△円」の金額を作るとき、1円硬貨が足りない場合に10円硬貨を使って代金を作る	1円硬貨2枚と10円硬貨2枚を入れた箱を用意し、「今、これだけお金があります。〇円のお菓子を買うときのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	3円、6円、9円の買い物で10円硬貨を1枚出せるか							
		1円硬貨2枚と10円硬貨10枚を入れた箱を用意し、「今、これだけお金があります。〇十△円のお菓子を買うときのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	45円、63円、86円の買い物で1円硬貨の代わりに10円硬貨を1枚出せるか							

6	必要な金種を選んで多めの代金を作ることができる	②「〇十円」や「〇百△十円」の金額を作るとき、10円硬貨が足りない場合に100円硬貨を使って代金を作る	10円硬貨2枚と100円硬貨2枚を入れた箱を用意し、「今、これだけお金があります。〇十円のお菓子を買うときどのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	40円、60円、80円の買い物で100円硬貨を1枚出せるか						
			10円硬貨2枚と100円硬貨10枚を入れた箱を用意し、「今、これだけお金があります。〇百△十円のお菓子を買うときどのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	360円、540円、730円の買い物で10円硬貨の代わりに100円硬貨を1枚出せるか						
		③「〇百円」や「〇千△百円」の金額を作るとき、100円硬貨が足りない場合に1000円札を使って代金を作る	100円硬貨2枚と1000円札2枚を入れた箱を用意し、「今、これだけお金があります。〇百円のお菓子を買うときどのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	300円、600円、900円の買い物で100円硬貨の代わりに1000円札1枚出せるか						
			100円硬貨2枚と1000円札10枚を入れた箱を用意し、「今、これだけお金があります。〇千△百円のお菓子を買うときどのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	3800円、6200円、8700円の買い物で100円硬貨の代わりに1000円札1枚出せるか						
		④4桁までの金額で、手持ちのお金では定価どおりの金額が作れないとき、いろいろな金種の中から足りない金種より1桁上の金種を選んで代金を作る	1000円札1枚、100円硬貨9枚、10円硬貨9枚、1円硬貨2枚を入れた箱を用意し、「今、お金がこれだけあります。●百〇十△円のお菓子を買うとき、どのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	783円、284円、457円の買い物で、1円硬貨の代わりに10円硬貨を1枚多くだして代金が作れるか						
			1000円札9枚、100円硬貨9枚、10円硬貨2枚、1円硬貨9枚を入れた箱を用意し、「今、お金がこれだけあります。●千〇百△十円のお菓子を買うとき、どのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	5360円、3840円、8290円の買い物で、10円硬貨の代わりに100円硬貨1枚多くだして代金が作れるか						
			1000円札9枚、100円硬貨9枚、10円硬貨9枚、1円硬貨2枚を入れた箱を用意し、「今、お金がこれだけあります。●千〇百▲十△円のお菓子を買うとき、どのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	4265円、1889円、6837円の買い物で、1円硬貨の代わりに10円硬貨1枚多くだして代金が作れるか						
			1000円札9枚、100円硬貨9枚、10円硬貨2枚、1円硬貨9枚を入れた箱を用意し、「今、お金がこれだけあります。●千〇百▲十△円のお菓子を買うとき、どのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する	6837円、1889円、4265円の買い物で、10円硬貨の代わりに100円硬貨1枚多くだし、1円10円は取り除いて代金が作れるか						

			<p>1000円札9枚、100円硬貨1枚、10円硬貨2枚、1円硬貨9枚を入れた箱を用意し、「今、お金がこれだけあります。〇千〇百△十△円のお菓子を買うとき、どのお金を出したらよいですか、取ってごらん」と指示する</p>	<p>1889円、6837円、4265円の買い物で、100円硬貨の代わりに1000円札を1枚多くだし、100円、10円、1円は取り除いて代金が作れるか</p>						
--	--	--	---	---	--	--	--	--	--	--

『四則計算—加法』実態調査チェックリスト

段階	大項目	小項目	実態調査の仕方		実態(0-できる, x-完全にはできない, 算帳計算をつけること)												
			使用する教材と問い		チェック・ポイント		調査期日及び調査者										
							/	/	/	/	/	/					
1	5 合併の意味が わかり、式に 表わして、答 えを言うこと ができる	①物と物を合わ せた後、全部 でいくか言う	2個と3個に分けたタイルを提示して、「合わせてごらん」と指示する (1と4, 2と2, 1と3, 1と2, 1と1同様)	2個と3個を合わせられるか(他も同様)													
			合わせた後、「全部でいくつ」を問う	合わせた数が言えるか													
		②数字と+=の 記号を使って 式を作り答を 出す	2個と3個に分けたタイルを提示して合わさせた後、「合わせたことを式に書いてごらん」と指示する (1と4, 2と2, 1と3, 1と2, 1と1同様)	2+3(又は, 3+2)と書けるか(他も同様) *算で書いても可													
			式に書かせた後、「計算してごらん」と指示する	2+3=5(又は, 3+2=5)と書けるか(他も同様)													
2	5 増加の意味が わかり、式に 表わして、答 えを言うこと ができる	①物を増やした 後、全部でい くつかを言う	タイルを3個入れてある皿とバラタイルを数枚提示して、「皿の中にタイルを2個入れてごらん」と指示する (1と4, 2と2, 1と3, 1と2, 1と1同様)	皿の中に2個入れられるか(他も同様) *算で書いても可													
			入れた後、「全部でいくつ」と問う	合わせた数が言えるか													
		②数字と+=の 記号を使って 式を作り答を 出す	タイルを3個入れてある皿にタイルを2個入れさせた後、「3個の中に2個入れたことを式に書いてごらん」と指示する (1と4, 2と2, 1と3, 1と2, 1と1同様)	2+3(又は, 3+2)と書けるか(他も同様)													
			式に書かせた後、「計算してごらん」と指示する、	2+3=5(又は, 3+2=5)と書けるか(他も同様)													
		4+2= 3+2= 5+0= 1+3= 2+2= 0+4= 2+1= 3+0= 1+1= 0+2= 0+0= を記入した用紙を提示して「計算してごらん」と指示する			暗算で計算できるか												
		3	6 合併や増加の 場合を式に表 わして、答え を言うことが できる	①数字と+=の 記号を使って 式を作り答を 出す	6個と4個に分けたタイルを提示して合わさせた後、「合わせたことを式に書いて計算してごらん」と指示する (4と3, 2と6, 5と1, 2と7同様)	6+4=10(又は4+6=10)と書けるか(他も同様)											
タイルを7個入れてある皿にタイルを3個入れさせた後、「7個の中に3個入れたことを式に書いてごらん」と指示する (4と3, 2と6, 5と1, 2と7同様)	7+3=10(又は3+7=10)と書けるか(他も同様)																
8+2= 1+9= 6+4= 7+3= 5+4= 2+7= 3+4= 0+6= 3+5= 10+0= を記入した用紙を提示して「計算してごらん」と指示する				暗算で計算できるか													
②2位数+1位 数の式を作り 答えを出す	31個と8個に分けたタイルを提示して合わさせた後、「合わせたことを式に書いて計算してごらん」と指示する			31+8=39(又は, 8+31=39)と書けるか													
	タイルを45個入れてある皿にタイルを4個入れさせた後、「45個の中に4個入れたことを式に書いて、計算してごらん」と指示する	45+4=49(又は, 4+45=49)と書けるか															
	13+6= 47+2= 61+8= 5+23= 7+92= 3+80= を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する			計算できるか *算で可													

		② 2 位数+2 位数の式を作り 答えを出す	$43+56=$ $81+13=$ $30+27=$ $12+21=$ $60+30=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか *計算でも可							
5	繰り上がりの ある加法をす まることができる	① 1 位数+1 位数の式を作り 答えを出す	9 個と 8 個に分けたタイルを提示して合わせた後、「合わせたことを式に書いて計算してごらん」と指示する	$9+7=16$ (又は、 $7+9=16$)と書けるか							
			タイルを 6 個入れてある皿にタイルを 8 個入れさせた後、「6 個の中に 8 個入れたことを式に書いて、計算してごらん」と指示する	$6+8=14$ (又は、 $8+6=14$)と書けるか							
		② 2 位数+1 位数の式を作り 答えを出す	$2+9=$ $8+4=$ $7+7=$ $6+8=$ $3+9=$ $5+7=$ $7+8=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか *計算でも可							
			$87+9=$ $4+28=$ $54+6=$ $7+13=$ $66+6=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか *計算でも可							
③ 2 位数+ 2 位数の式を 作り、答えを 出す	$73+17=$ $42+24=$ $11+69=$ $38+45=$ $56+27=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか *計算でも可									

『四則計算—減法』実態調査チェックリスト

段階	大項目	小項目	実態調査の仕方		実態(0-できる、×-完全にはできない、意味不明をつけること)						
			使用する教材と問い	チェック・ポイント	調査期日及び調査者						
1	求残の意味が 5 わかり、式に ま表わして、答 えを言うこと ができる	①物を減らした 後、全部でい くつかを言う	タイルを 5 個入れた皿を提示して、「三個取ってごらん」と指示する (4から2, 3から1, 5から5, 5から4も可)	5 個から 3 個を取れるか(他も同様)							
			取らせた後、「全部でいくつ」と問う	残りの数が言えるか							
2	求差の意味が 5 わかり、式に ま表わして、答 えを言うこと ができる	②数字と-の 記号を使って 式を作り、答 えを出す	タイルを 5 個入れた皿を提示して、3 個取らせた後、「5 個から 3 個取ったことを式に書いてごらん」と指示する (4から2, 3から1, 5から5, 5から4も可)	$5-3$ と書けるか (他も同様) *答まで書いて可							
			式に書かせた後、「計算してごらん」と指示する	$5-3=2$ と書けるか (他も同様)							
		①二つの物の集 まりを比べど ちらがいくつ 多いか言う	白タイル 5 個、赤タイル 3 個を白と赤の集まりに分けて提示し、「どちらがいくつ多いか言ってごらん」と指示する (A4とB5, A3とB1, A2とB4, A3とB2も可)	「白が 2 個多い」と言えるか (他も同様)							

		②数字とーの記号を使って式を作り、答を出す	白タイル5個、赤タイル3個を白と赤の集まりに分けて提示し、どちらがいくつ多いか言わせて後、「白(赤)が、いくつ多いか式に書いて計算してごらん」と指示をする (白5と赤1、白2と赤5、白4と赤1、白3と赤4、白1と赤2も同様)	$5-3=2$ と書けるか (他も同様)						
			$5-4=$, $5-2=$, $5-0=$, $4-3=$, $4-2=$, $4-0=$, $3-1=$, $3-0=$, $2-1=$, $1-1=$, $1-0=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	暗算で計算できるか						
3	6	求差や求差の場合を式に表わして、答えを言うことができる	①数字とーの記号を使って式を作り、答を出す	タイルを10個入れた皿を提示して、4個取らせた後、「残りはいくつになるか式に書いて計算してごらん」と指示する (9から7, 8から5, 7から3, 6から6も同様)	$10-4=6$ と書けるか (他も同様)					
				白タイル9個、赤タイル4個を白と赤の集まりに分けて提示し、どちらがいくつ多いか言わせて後、「白(赤)が、いくつ多いか式に書いて計算してごらん」と指示をする	$9-4=5$ と書けるか (他も同様)					
				$10-7=$, $10-3=$, $9-9=$, $9-5=$, $8-4=$, $8-6=$, $7-2=$, $6-0=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	暗算で計算できるか					
4	99	繰り下がりのない減法をすまることができる	①2位数-1位数の式を作り答を出す	タイルを28個入れた皿を提示して、7個取らせた後、「残りはいくつになるか式に書いて計算してごらん」と指示する	$28-7=21$ と書けるか					
				白タイル36個、赤タイル5個を白と赤の集まりに分けて提示し、どちらがいくつ多いか言わせて後、「白(赤)が、いくつ多いか式に書いて計算してごらん」と指示をする	$36-5=31$ と書けるか					
				$99-6=$, $87-7=$, $48-3=$, $25-4=$, $57-5=$, $60-0=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか (難し可)					
			②2位数-2位数の式を作り答を出す	$86-34=$, $63-23=$, $78-75=$, $39-27=$, $95-90=$, $50-40=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか (難し可)					
5	99	繰り下がりのある減法をすまることができる	①2位数-1位数の式を作り答を出す	タイルを17個入れた皿を提示して、8個取らせた後、「残りはいくつになるか式に書いて計算してごらん」と指示する	$17-8=9$ と書けるか					
				白タイル13個、赤タイル5個を白と赤の集まりに分けて提示し、どちらがいくつ多いか言わせて後、「白(赤)が、いくつ多いか式に書いて計算してごらん」と指示をする	$13-5=8$ と書けるか					
				$98-9=$, $80-8=$, $66-7=$, $52-4=$, $32-3=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか (難し可)					
			②2位数-2位数の式を作り答を出す	$97-18=$, $70-23=$, $62-57=$, $40-31=$, $83-64=$, $85-76=$ を記入した用紙を提示して、「計算してごらん」と指示する	計算できるか (難し可)					